

## 令和3年度事業報告について

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である神戸市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的としている。

また、事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に講じるとともに、2025(令和7)年における当協会のあるべき姿及び取り組むべき重点施策を示した「2025ビジョン」(平成30年6月策定)や、新たな福祉課題に対応するため神戸市が令和元年度に設置した「しあわせの村リニューアル検討有識者会議」の提言の実現を目指し、各種の事業に取り組んだ。

### 令和3年度事業報告

※事業実績の〈 〉内は、令和2年度実績を示す。

#### 【公益目的事業】

#### I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長[公1] 91百万円

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、人口減少や少子高齢化の進行やコミュニティの衰退に伴う福祉課題の複合化・複雑化などに対応するため、福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図り、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

#### 1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

##### (1) 市民福祉情報の発信

市民福祉への理解を深めることを目的に、全市的な福祉・健康に関する情報や、当協会及びしあわせの村を運営する共同事業体が展開する事業を広く紹介する「しあわせの村ホームページ」等のWEBサイトのリニューアル及びWEB・SNSによる情報発信を行った。

##### (2) ユニバーサルデザイン(UD)の普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、神戸市のユニバーサルデザイン(UD)のあり方を実践・発信する拠点としてUDの推進に取り組み、その成果を広く全市に発信していくための事業を実施した。

市民の思いやりの心を育み、福祉についてさまざまな角度から学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、障がい者を理解するための体験やしあわせの村におけるあらゆる利用者に配慮した取り組み等(UDスポット)の紹介など、しあわせの村の資源を活かした「ユニバーサル体験学習」を実施した。

また、市内の小学校を対象とした「UD出前授業」、出前授業の市民講師を務めるサポーターの活動の場である「UD広場」の支援などの取り組みを引き続き行うとともに、これまでの「夏休み親子UD体験教室」を障がい当事者の講話、車いすの体験、視覚障がい者体験及びUDグッズの紹介からなる「親子体験学習」に変更し実施した。

さらにこれまでの「こうべユニバーサルデザインフェア」を「しあわせの村ユニバーサルフェスタ」に変更し、体験型のイベントとして実施した。

[実施実績]

- ① 親子体験学習 [参加者数] 親子10組 20名 (新規)
- ② ユニバーサル体験学習 [参加者数] 808名 (17団体) (新規)
- ③ UD出前授業 [訪問学校数] 51校 [参加者数] 3,720名 <32校 2,082人>
- ④ こうべUD広場 [実施回数] 9回 [参加者数] 延92名 <6回 延63人>
- ⑤ しあわせの村ユニバーサルフェスタ [参加者数] 約1,800人 (新規)

(3) 聴覚・視覚障がいへの理解

ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、聴覚・視覚障がいについて市民の理解を深めるとともに、コミュニケーションの大切さを多くの市民が理解できるよう、手話及び点字の講座を行った。

手話講座においては令和3年度からは入門課程・基礎課程の講座に替えて、各講座の修了者を対象とした「フォローアップ講座」を新たに開講し、復習の機会を提供した。

さらに、小学生を対象に単発講座ではなく連続講座を通じて、聴覚障がい者への理解をより深めることを目的とした「こども手話講座」を新たに実施した。

[実施実績]

- ① 手話講座 (入門課程フォローアップ講座) [実施回数] 全12回 [受講者数] 19人(新規)  
(基礎課程フォローアップ講座) [実施回数] 全10回 [受講者数] 32人(新規)
- ② 点字講座 [実施回数] 1期・全35回 <1期・全32回>  
[受講者数(修了者数)] 9人(9人) <3人(3人)>
- ③ 短期手話講習会 [実施回数] 1期・全4回 <1期・全4回>  
[受講者数] 48人(2クラス開講) <33人>
- ④ こども手話講座 [受講者数] 18人(新規)
- ⑤ 夏休みこども手話教室 中止 <28人>

(4) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への神戸市代表選手の派遣

令和3年度は「こうべ長寿祭」「全国シルバー合唱コンクール」「ふれあいウォークラリー」を中止するとともに、「全国健康福祉祭ぎふ大会」が中止となったため、神戸市代表選手団の派遣は行わなかった。

[実施実績]

- 美術作品展 [実施期間] 9月30日～10月3日 [出展作品数] 191点 <211点>

## 2 市民の福祉活動の振興

### (1) 市民福祉活動支援

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造のため、福祉団体をはじめとするさまざまな団体が、市民の交流を目的としてしあわせの村で実施した「チャレンジド・ドローン講習会」や「パーキンソン病患者家族交流会」など、神戸市民の福祉の発展・向上に資する活動に対する支援を行った。

## 3 市民福祉事業の調査研究及び開発

福祉を取り巻く社会情勢の変化により新たに生じるニーズに対応するとともに、「しあわせの村リニューアル検討有識者会議」から出された提言の実現を目指し、先駆的・創造的な市民福祉事業の調査研究及び開発に取り組んだ。

### (1) 健康寿命延伸の促進

#### ① 「しあわせの村健康倶楽部」の運営

神戸市民の健康寿命延伸、認知症神戸モデルの推進を目的に、コロナ禍による高齢者の出控えに対する介護・認知予防対策の一つとして、しあわせの村の施設を有効活用にも取り組みながら、「しあわせの村健康倶楽部」の運営を行った。

また、会員から収集した「健康データ」と、神戸市の健康アプリケーション「マイコンディションKOBE」との連携を図り、会員の同意のもと研究者にデータを提供することにより、その検証結果が神戸市民全体の健康づくりに役立てられることも目指した。

[実施実績]

○健康増進セミナー [実施回数] 5回 [参加人数] 146人 (新規)

○測定会&体験会 [実施回数] 2回 [参加人数] 47人 (新規)

○登録会員数 311人 (令和4年3月末時点)

#### ② 認知症・フレイル予防の推進

神戸市の介護予防事業として、「市民サポーターによるフレイルチェック会」を実施した。

[実施回数] 7回 (新規)

### (2) 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営 (文部科学省受託事業)

学校卒業後の障がい者が幅広い分野の講義を受講し、興味関心の幅を広げる様々な教養を身に付けるとともに、クラブ活動や世代間交流行事を通じて、主体性を育み、仲間づくりを実現することを目的に、文部科学省からの受託により「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」を新たに開講した。

[実施回数] 6回 [受講者数] 30人 (新規)

### (3) 移動型バリアフリートイレ開発に向けた実証実験の実施

包括連携協定を締結している神戸学院大学の協力により、トヨタ自動車株式会社が開発に取り組む移動型バリアフリートイレ(モバイルトイレ)について、学識者による研究グループの参画も得ながら、しあわせの村において実証実験を実施した。

[実施回数] 3回 (新規)

#### 4 「こうべ医療者応援ファンド」の運営

令和2年度に創設した新型コロナウイルス感染症患者の治療等にあたる医療従事者を応援する基金「こうべ医療者応援ファンド」の運営を引き続き行った。

積極的なPRと募金受け入れとともに、有識者で組織する「ファンド配分委員会」が支援金の配分先及び配分額を決定し、医療機関等を通じて医療従事者に対する手当の加算等の勤務環境の改善に充てられた。

令和3年度は寄付金付きオリジナルエコバッグを作成し、連合婦人会の協力により2,000個を売上げ、113万円の寄付をいただくとともに、神戸市のふるさと納税を通じて6,870万4千円の寄付をいただいた。

[寄付金受入額] 1億2,261万5,466円 <6億3,283万429円>

[医療機関への支援金配分額] 1億6,008万円 <4億1,508万9,977円>

## Ⅱ 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 484百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るための市民福祉施設において、施設の管理運営を通じて、市民福祉の向上を目指す事業を実施した。

特に「しあわせの村」においては、共同事業体及び村内施設と連携し、「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現を目指し、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、あたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いのこころを育み、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」ことができるよう運営の充実を図った。

さらに、withコロナ時代を見据え、市民の施設に対するニーズの変化などに対応しながら市民相互の新たな交流の場や賑わいづくりに取り組んだ。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けた前年度の利用実績と比較すると持ち直しつつあるものの、宿泊施設などは感染拡大前の水準を大きく下回る結果となった。

	利用者数	対令和2年度比	対令和元年度比
入村者数	1,678,500人	+92,200人 (+5.8%)	△183,300人 (△9.8%)
施設利用者数	708,723人	+132,276人 (+22.9%)	△354,789人 (△33.4%)
宿泊施設	23,668人	+7,553人 (+46.9%)	△41,003人 (△63.4%)
温泉	133,341人	+10,921人 (+8.9%)	△70,147人 (△34.5%)
屋内運動施設	175,516人	+56,801人 (+47.8%)	△106,676人 (△37.8%)
屋外運動施設	333,970人	+56,839人 (+20.5%)	△85,224人 (△20.3%)
研修館等	42,228人	+162人 (+3.8%)	△51,739人 (△55.1%)
イベント等	22,198人	14,854人 (+49.4%)	△118,671人 (△84.2%)

### 【緊急事態宣言発令（県休業要請等）にともなう施設の対応状況】

	緊急事態宣言発令期間	
	令和3年4月25日～6月20日	令和3年8月20日～9月30日
宿泊施設	本館：4/30～6/20休業 たんぽぽ：4/25～6/20休業 あおぞら：4/27～6/20休業	営業
温泉	4/25～5/11休業	時短営業
屋内運動施設	4/25～5/11休業	時短営業
屋外運動施設	営業（一部時短）	営業（一部時短）
研修館	4/25～5/11休業 5/12～時短営業	時短営業

## 1 高齢者・障がい者が主役の村づくり

### (1) 企業・大学と連携した“しごと”創出の基盤づくり

村内における障がい者の就労を一層進めるため、令和2年度に開設した「しあわせの村実習受け入れセンター」を起点として、神戸市教育委員会や特別支援学校、しごとサポート等と協力し、村内事業所における実習実施のためのマッチングやサポートを拡充した。

[実施実績]

#### ① 職場体験実習

[受入施設数] 4施設 [受入人数] 25人 <4施設 17人>

#### ② 農業体験

[参加施設数] 6施設 [参加人数] 延310人 <3施設 延128人>

### (2) 障がい者事業所製品の販売支援

障がい者施設製品の紹介・販売の場である「はっぴねすコーナー」（本館・宿泊館1階コンビニエンスストアと併設）について、出店施設数の増加に伴い商品が充実してきており、今後の販売支援拡充に向けて販売の拠点となる同コーナーの改修を行った。

また、村内障がい者施設による「缶バッチ☆マグネット製作隊」の受注・販売活動を引き続き支援を行った。

[実績]

① はっぴねすコーナー売上額 3,268千円 <1,905千円>

② はっぴねすコーナー出店施設 36団体 <32団体>

③ 缶バッチ☆マグネット製作隊受注実績 10,540個 <12,146個>

### (3) 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営（再掲）

### (4) 神戸市シルバーカレッジの運営

高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを目指して高齢者に学習や実践活動の場を提供するため、健康ライフ（健康福祉）、国際交流・協力、生活環境、総合芸術の4つのコースを設け、コース別の専門授業や社会貢献などの共通授業、スポーツ授業を実施するとともに、学生のボランティア活動や地域交流活動などの社会貢献活動に対する支援・協力を行った。

[令和3年度入学者数] 259人（うち、再入学者数 49人）<326人（うち、再入学者数 60人）>

[令和3年度末在籍学生数] 798人 <788人>

健康ライフ（健康福祉）コース 115人 <133人>

国際交流・協力コース 168人 <163人>

生活環境コース 149人 <146人>

総合芸術コース（4専攻） 366人 <346人>

### (5) 「NPO法人社会還元センターグループわ」との連携

神戸市シルバーカレッジの卒業生の社会貢献活動の機会を広げるため、「NPO法人社会還元センターグループわ」と連携し、当協会が実施する村内事業に対して企画段階からの

参画を得て、しあわせの村の魅力向上を図った。

- ① わいわいストリート 中止 <中止>
- ② 夏休み工作塾 [実施日] 8月7日 [参加者数] 124人 <190人>
- ③ ビバ・ハロウィン「こうべっこひろば」  
[実施日] 10月30日 [来場者数] 1,309人 <1,884人>
- ④ 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営
- ⑤ 「しあわせの村健康倶楽部」の運営

#### (6) 東京パラリンピック・世界パラ陸上に向けた支援

パラスポーツや障がい者スポーツに対する理解を深めるため、神戸市が主催する「東京2020パラリンピック聖火リレー 聖火フェスティバル(聖火ビジット)」へ参画するとともに、「パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2021」を実施した。

また、東京オリンピックに出場するフランス体操代表選手団の事前合宿に伴うしあわせの村での宿泊(7月11日～7月20日)を支援した。

- ① 東京2020パラリンピック聖火リレー 聖火フェスティバル(聖火ビジット)  
[開催日] 8月15日 [参加者数] 200人(新規)
- ② パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2021  
[開催日] 11月3日 [参加者数] 3,800人 <2,886人>

#### (7) パラスポーツの普及拡大

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいをづくりを目的に、(福)神戸市社会福祉協議会と連携し、各種スポーツ教室や障がい者と健常者がスポーツを通じて相互理解を深めることを目的とした交流イベントを実施した。

また、公益財団法人日本パラスポーツ協会が主催する全国の障がい者スポーツ指導者を対象とした研修会に共催団体として研修会場の提供及び運営協力を行った。

- ① 障がい者スポーツ教室  
[実施種目] 水泳、卓球、親子運動、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ  
[実施回数] 水泳、卓球、親子運動 年3期(春期は単発講座で開催)  
テニス 年6期  
アーチェリー 年4期  
ニュースポーツ 毎月  
[受講者数] 497人 <359人>
- ② スポーツ交流イベント  
パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2021(再掲)  
[実施日] 11月3日 [参加者数] 3,800人 <2,886人>  
トレイルオリエンテーリング  
[実施日] 11月21日 [参加者数] 121人 <105人>  
ふれあいラン  
[実施日] 1月10日 [参加者数] 9組28人 <中止>  
シッティングバレーボール大会(新規)

[実施日] 3月6日 [参加者数] 8チーム66人  
ふれあい卓球大会

[実施日] 3月20日 [参加者数] 61人 <中止>

③第16回障がい者スポーツ指導者全国研修会（新規）

[実施日] 12月11日、12日 [参加者数] 502人（現地152人、WEB350人）

(8) こころのアート展・こころのアートギャラリー

障がい者の芸術作品の魅力を広く社会に発信し、活動の場を拓くため、芸術活動に取り組む障がい者を兵庫県内から公募し、作品展を実施するとともに、「こころのアートギャラリー」（本館・宿泊館2階）において、過去の出展者の作品を展示する「十人十色展」を実施した。さらに、神戸旧居留地エリアの企業等の協力を得て、エリアを散策しながら作品を鑑賞する「神戸旧居留地こころのアート展」を令和2年度に引き続き実施した。

① 第10回こころのアート展

[実施期間] 12月16日～1月16日 [来場者数] 2,893人 <3,852人>

② 十人十色展

[実施回数] 4回 <1回>

③ 神戸旧居留地こころのアート展

[実施期間] 3月8日～3月21日 [作品展示場所] 11カ所 <11カ所>

## 2 あらゆる子どもの成長支援

### (1) 野外活動を通じた支援

① しあわせの村×YMCA 森の学校

当協会が包括連携協定を締結している（公財）神戸YMCAと連携し、野外活動での体験から仲間の大切さや自ら考えて行動する力を養うことを目指した「しあわせの村×YMCA 森の学校」を市内の小学生・中学生を対象に実施し、子どもの野外活動を通じた学びや体験の機会を提供した。

[実施回数] 全9回 [参加者数] 29名（新規）

② 家族で楽しむキャンプ入門

障がいのある児童とその家族が、野外でのキャンプやレクリエーション活動を楽しめるきっかけを提供することにより、家族の交流を図ることを目的に「家族で楽しむキャンプ入門」を実施した。

[実施回数] 2回 [参加者数] 45組 221人 <1回 25組 35人>

### (2) のびのび運動ひろば

これまでの「発達の気になる子の体験ひろば」について、専門家や専門機関と連携を図り、指導・助言を受けプログラムの見直しを行ったうえで、発達の気になる児童が体を動かす楽しさの経験から運動への意欲や達成感を持てる機会を提供する場として新たに「のびのび運動ひろば」を実施した。

[対象] 発達の気になる小学1年生・2年生 [実施回数] 6回 [参加者数] 65人（新規）

[専門委員会委員] 神戸市総合療育センター診療所長 高田 哲 氏



関西学院大学教育学部准教授 松井 学洋 氏  
神戸大学医学部保健学研究科助教 山本 暁生 氏

(3) 親子・世代間交流の場の提供

「グループわ」と連携し、「わいわいストリート（昔あそび体験）」、「夏休み工作塾（創作活動体験）」、「ビバ！ハロウィン（季節の子ども向けイベント）」などの世代間交流を通じた子育て支援事業について、企画段階から参画を得て実施した。（再掲）

①わいわいストリート 中止 <中止>

②夏休み工作塾 [実施日] 8月7日 [参加者数] 124人 <190人>

③ビバ・ハロウィン「こうべっこひろば」

[実施日] 10月30日 [来場者数] 1,309人 <1,884人>

(4) 子育て支援駐車料金無料化

神戸市が進める子育て支援施策として、18歳未満の子どもとともにしあわせの村を利用した場合に、普通車駐車料金の無料化を引き続き実施した。

[子育て支援無料化台数] 110,095台 <94,750台>

### 3 しあわせの村の活性化

(1) 「しあわせの村会議」の運営

共同事業体及び村内施設等で構成する「しあわせの村会議」において、日常的な相互支援体制の確立や今後の村のあり方の検討・実践等を進めるため、各分野の専門家を招いた研修会の開催などを通じて村全体での福祉課題の解決を目指した。

[実施回数] 4回 <4回>

(2) 発信力の強化

「しあわせの村広報部会」において広報媒体の現況を検証するとともに、SNSなどの広報手段の活用など今後のしあわせの村の広報のあり方について検討した。

さらに、「しあわせの村ホームページ」をリニューアル（再掲）し、発信力の強化を図った。

また、しあわせの村の利用者の意見をさまざまな改善等に反映させるため、入村者アンケート調査を引き続き実施した。

[有効回答数] 1,450件 <1,935件>

(3) 市民交流事業

① しあわせの村ユニバーサルフェスタ（再掲）

② しあわせの村まつり

3年度は中止する一方、「しあわせの村まつり実行委員会」において今後のまつりのあり方について検討した。

③ 神戸市混声合唱団によるコンサート

i しあわせコンサート

[実施日] 1月16日 [参加者] 90人

ii フィルムコンサート

2年度に作成したコンサート動画を放映するフィルムコンサートを実施

[実施日] 7月21日～8月30日 (本館・宿泊館)

10月9日 (にこにこハウス医療福祉センター)

④ 村の魅力ある自然環境を楽しむ

日本庭園をはじめとするしあわせの村の公園施設を活用し、豊かな自然環境を体感しながら魅力を感じることができるイベントを実施した。

i 夜桜ライトアップ 中止

ii 植物散策会

[実施日] 7月4日 [参加者数] 17人

iii 緑のオリエンテーリング

[実施日] 10月9日 [参加者数] 藍染体験 54人 クイズラリー 98人

iv 脱穀体験会

[実施日] 10月24日 [参加者数] 50人

v 紅葉ライトアップ

[実施日] 10月29日～11月14日 [来場者数] 4,412人

vi イルミネーション

[実施日] 11月19日～2月13日

vii ユニバーサル農園活動

「ユニバーサル農園」において、レクリエーションや障がい者の機能回復等を目的として、村内の福祉施設の高齢者、障がい者及び児童に野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

[参加団体数] 7団体 [参加人数] 延1,384人

(4) 総合的な維持管理

①しあわせの村を訪れるだれもが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の総合的な維持管理を行った。

②一年中花を見ることができ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、引き続き快適な空間として利用いただけるよう維持管理を行った。

③だれにでもやさしい村づくりを進めるため、研修館トイレのUD改修にあわせて、歩道マットを追加敷設するとともに、来村者が利用しやすいよう「はっぴねすコーナー」(本館・宿泊館1階コンビニエンスストア併設)の改修を行った。さらに、福祉のまちづくり研究所と連携して、QRコードを活用した案内看板の実証実験を行った。

(5) ボランティア活動の推進

しあわせの村内でさまざまな役割を担っていただくため、あらゆる世代の市民を対象にボランティアとして参画を求めた。

[ボランティア登録者数/活動者数]

①障がい児・者向けスポーツ教室指導補助ボランティア

31人／延554人 <58人/延619人>

②社会人ボランティア 46人／延163人 <55人/延489人>

③ユース(大学生)ボランティア 37人／延351人 <43人/延187人>

④花緑ボランティア 21人／延668人 <19人/延897人>

[ボランティア研修会開催実績]

①水泳ボランティア向け研修 中止 <中止>

②ユース(大学生)ボランティア向け研修 10回 延76人参加 <6回 延66人>

#### 4 平磯児童館の運営

##### (1) 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

##### (2) 子育て支援事業

- ・「幼児の会」(毎週1回、2～5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラム)
- ・「ミニミニっ子」(毎月1回、0～2歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラム)
- ・「すくすくひろば」(毎月1回、地域団体が実施する0～5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラム)

[来館者数] 5,733人 <5,323人>

### Ⅲ 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 338百万円

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民、及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を、神戸市からの受託により実施した。

[調査件数] 35,289件 <32,773件>

#### 【収益事業等】

### 指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設の運営等 413百万円

#### 1 しあわせの村内便益施設の運営

##### ① 有料駐車場

[神戸市シルバーカレッジ学生定期券発行枚数] 334枚 <293枚>

[有料利用台数] 202,850台 <159,905台>

[子育て支援無料化台数] 110,095台 <94,750台>

##### ② 公衆電話 [設置台数] 4台 <4台>

③ 貸館（日本庭園内茶室等）《ホール等》 <380人> 《茶室》 <265人>

##### ④ 屋外アドベンチャー遊具（ボウケンノモリしあわせの村）

[運営事業者] 株式会社冒険の森

[利用者数] 22,160人 <17,750人>

#### 2 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者による運営を行った。

[運営事業者] 株式会社なでこの湯

[利用者数] 《宿泊》4,385人 <3,257人> 《温泉》144,879人 <144,742人>

[新型コロナウイルス感染症への対応状況]

4月27日～5月11日 全館休業

5月12日 時短にて営業再開（温泉レストラン、直売所は休業継続中）

#### 3 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、入居預り金の管理等を引き続き行った。

[事業承継法人] 社会福祉法人神港園